

佐藤優さんが慶應三教授と語り尽くす【日本の課題】



講師

作家、元外務省主任分析官

佐藤 優

Masaru Sato

「丸の内キャンパス参加」と「オンライン(Zoom)参加」のいずれかを選択していただきます。詳細は裏面をご確認下さい。

日本の実像と課題を考える三つの論点

資本主義の限界が喧伝される中で直面したコロナ禍によって、世界の経済・社会システムに大きな揺らぎが起きています。とりわけ日本の社会・組織・財政が抱える問題は深刻です。そこで本講座では、慶應義塾の三教授をゲストに迎え、日本のファシズム、組織の不条理、ベーシックサービスの三つの論点から、日本の実像と課題を考えてみたいと思います。

10・23 | 土
14:00-17:00

プロローグセッション 1

本講座の序章として、3人のゲスト講師に基調講義をお願いする三つの論点「日本のファシズム」「組織の不条理」「ベーシックサービス」について、佐藤さんの問題意識と今日的含意を解説していただきます。

11・13 | 土
14:00-17:00

片山杜秀教授と語る「日本のファシズム」 2

グローバル経済の影響で、世界には格差拡大、社会不安が広がっています。その処方箋として、国家の積極的介入によって社会問題を解決するファシズム的な政治体制が台頭してきました。いまこそファシズムとは何かを改めて考えるべき時と言えます。そこで、独自進化を遂げたかつての「日本のファシズム」を論点として思索を深めることで、日本社会に内包する普遍的な問題を考えたいと思います。

【ゲスト】片山杜秀(慶應義塾大学法学部教授)

日本の近代思想史を専門とする

【課題図書】『未完のファシズム』(片山杜秀)

12・11 | 土
14:00-17:00

菊澤研宗教授と語る「組織の不条理」 3

日本の組織には、個々の人材は優秀なのに、組織となると「合理的な失敗」に陥ってしまう不条理現象が起きることがあります。かつての日本陸軍の暴走、現代にも散見される企業不祥事等は、同じ組織的病巣に根差していると言えます。日本の企業・組織の問題を論点に、コロナ禍への対応や東京オリンピックを巡る錯綜にも通底する日本社会の特徴について議論を展開したいと思います。

【ゲスト】菊澤研宗(慶應義塾大学商学部教授)

経営学、組織の経済学を専門とする

【課題図書】『組織の不条理』(菊澤研宗)

1・29 | 土
14:00-17:00

井手英策教授と語る「ベーシックサービス」 4

コロナ対策によって、我が国の財政赤字はさらに増大しました。一方で、所得格差の拡大によって、生活に困窮する人達が数多く生み出されています。このような状況の中で、財政的に実現可能な社会保障改革はあり得るのでしょうか。

生きるため、暮らすために必要なサービスの実現を意味する「ベーシックサービス」という概念を論点に据え、これからの社会のあり方について話し合いたいと思います。

【ゲスト】井手英策(慶應義塾大学経済学部教授)

財政社会学、産業社会論を専門とする

【課題図書】『どうせ社会は変えられないなんてだれが言った?ベーシックサービスという革命』(井手英策)

2・26 | 土
14:00-17:00

エピローグセッション 5

本講座の終章は、これまでの会合を踏まえて書いていただく最終レポートを題材にして、全体のまとめと総括的な質疑応答のセッションとします。

講座の進め方


ゲスト講師の講義、佐藤さんとの対談、受講者を交えたディスカッションの三部構成で進行します。
丸の内キャンパス参加の方は、最終セッションの前にレポートを提出していただきます。

参加形態

下記いずれかの参加形態を選択してお申し込みください。

- 丸の内キャンパス参加
 - ・事前課題図書(3冊)の配布
 - ・各回の質疑応答への参加
 - ・最終レポートの提出およびフィードバック
- オンライン(Zoom)参加
 - ・講義・対談の聴講のみ
 - ・質問および最終レポートはお受けできません。

開催概要

日程	2021年 10/23、11/13、12/11、 2022年1/29、2/26(すべて土曜日)
時間	14:00-17:00 (3時間)
回数	5回
定員	丸の内キャンパス参加 15名 オンライン(Zoom)参加 30名
会場	丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)
参加費	丸の内キャンパス参加 110,000円(税込) オンライン(Zoom)参加 55,000円(税込)
おすすめしたい方	現代日本が抱える問題を歴史的な文脈で捉え、経済学、政治学の理論を踏まえて多面的に考えたい方
申込み	http://www.sekigaku-agera.net/ 

講師プロフィール

佐藤 優(さとうまさる)

1960年、東京都生まれ。埼玉県立浦和高等学校、同志社大学神学部を卒業。同志社大学大学院神学研究科修了(神学修士)。
1985年に外務省入省。英国の陸軍語学学校でロシア語を学び、その後モスクワの日本国大使館、東京の外務省国際情報局に勤務。外交官勤務のかたわらモスクワ国立大学哲学部で弁証法神学を講義し、東京大学教養学部で民族問題を講義する。
2002年5月に鈴木宗男事件に連座し、東京地検特捜部に逮捕、起訴され、無罪主張を争うも2009年6月に執行猶予付き有罪確定。2013年6月に執行猶予期間満了。この逮捕劇を「国策捜査」として描いた『国家の罠—外務省のラスプーチンと呼ばれて』(新潮社、2005年)は、大きな波紋を呼び、毎日出版文化賞特別賞を受賞。『自壊する帝国』(新潮社、2006年)が新潮ドキュメント賞、大宅壮一ノンフィクション賞を受賞した。
現在は作家としての創作とともに、外交・安全保障問題、インテリジェンス、思想、勉強法などの分野でも精力的な評論活動を展開している。

「丸の内キャンパス参加」と「オンライン(Zoom)参加」のいずれかを選んでお申し込みください

本講座は「丸の内キャンパス参加」もしくは「オンライン参加」のいずれかを選択してお申し込みください。「丸の内キャンパス参加」のお申し込みにあたっては、下記キャンパスへお越しになる皆様へのお願いをご確認の上、ご協力のほどよろしくお願いたします。ただし今後の状況により【オンラインのみ】に開催形態を変更する場合があります。

【丸の内キャンパス参加】



- ・事前課題図書(3冊)の配布
- ・各回の質疑応答への参加
- ・最終レポートの提出およびフィードバックがあります。

【オンライン(Zoom)参加】



- ・講義・対談の聴講のみ
- ・質問および最終レポートはお受けできません。

キャンパスにお越しになる際のお願い

- ・事前に体調を確認の上お越しください。発熱、咳などの症状、体調不良、また過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国や地域に訪問歴がある場合はご来場をお控えください。
- ・マスクの着用をお願いいたします。
- ・手洗いや備え付けの消毒液のご使用、咳エチケットのご協力をお願いいたします。

会場の感染予防措置

- ・講師およびスタッフのマスク着用、手指消毒、体調管理の徹底
- ・教室共用部分の清掃、消毒(机、椅子背もたれ、ドアノブ等)
- ・アルコール消毒液と清浄綿の設置
- ・可能な限り間隔を開けた座席配置
- ・常時空調換気と適宜教室扉の開放換気
- ・喫煙ルームの閉鎖

お問い合わせ 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会
TEL:03-5220-3111 info@keiomcc.com



今後の状況によっては対応施策が変更となる場合がございます。ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。